

活動計画書 / 活動実施計画書

団体名：中川運河の再生を考える会

1 組織の現況、課題

長年、中川運河の再生を願ってきた小澤、原が、新たに谷本を加え今年度より活動を開始。

市民に、中川運河の開放感のある景観を楽しんでもらい、憩いの場となるよう、中川運河周辺で、マルシェやアート活動支援を行い、中川運河が更に賑わうきっかけづくりとなるよう各種活動を行っていく。

今年度更新される「中川運河再生計画」に則り、中川運河にぎわいゾーンにおけるにぎわい創出に資する活動をめざす。

※令和5年8月頃、一般社団法人化予定

2 助成を受けようとする活動の目的

今年11月4日(土)に、堀止緑地および名古屋高速高架下で堀止緑地マルシェ開催を計画。

市民に中川運河の景観の素晴らしさを広く知ってもらい、再度訪れたいような場所にしていく。

また、防災の観点でも、屋間に災害が起きた際には、周辺住民も含めると7,000人ほどの人々が滞在しているささしまライブ地区における防災を、もう一つのメインテーマにして、防災を楽しく啓蒙する機会とし、今後毎年このマルシェを実施することにより、ささしまライブ地区における防災意識を高めていく。

3 活動による今年度の成果目標

マルシェ来場者の目標人数は、初年度ということもあり、読めない状況であるが、今年は2,000人/日を目標とする。また、当日の集客数、人の流れ、来場方法（公共機関、車、自転車等）などについてデータを収集し（データ収集会社と連携予定）、名古屋市・名古屋港管理組合に情報提供する予定。

防災啓蒙では、名古屋市防災危機管理局と連携し、防災啓蒙の各種印刷物を来場者に配布予定（名古屋市と連携済。名古屋市防災局ブース出店予定）。マルシェを毎年開催することにより、名古屋市の防災への取り組みをPRしていく。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

11月4日（土）に、堀止緑地および名古屋高速高架下で堀止緑地マルシェを企画中。マルシェのお店は、プロデュースの高木佳恵の人脈を生かし、特徴的な魅力ある飲食店やクラフト店を集め（約10店舗）魅力あるマルシェとする。そして、来年度はさらに来場者を増やし、中川運河が更に賑わうきっかけづくりとしたい。

また、名古屋市防災危機管理局と連携し、マルシェの中で市民の防災意識を高める活動も行う。

雨天・荒天時は、出店テントは、高架下に設置するようにする予定。

初年度の今回は、多くの成果を求めるよりも、まず実施して、今後の課題を探り、次年度に繋げるものとしたい。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ・名古屋港管理組合、名古屋港緑地保全協会
- ・名古屋市住宅都市局ささしまライブ24総合整備事務所
- ・名古屋市防災危機管理局
- ・ささしライブまちづくり協議会
- ・名古屋市住宅都市局名港開発振興課

※上記部署とは面談の上、活動内容の説明を行った。実施内容についても承認済み。

6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
令和5年4月	名古屋市関連部局への協力依頼
5月	名古屋市関連部局への申請書提出
7月	マルシェ出店者の選定・出店依頼
7月	マルシェ設営図面作成
8月	データ収集会社と契約、保健所への届出
9月	全体の運営オペレーション作成
10月	最終運営確認
11月	マルシェ開催、開催後改善点の洗い出し
12月	名古屋市等関連部署への結果報告

7 活動後、次年度以降の展望

令和5年度の実施後、課題や改善点を洗い出し、次年度に向けて活動を続ける。

今後毎年開催することによって、「中川運河再生計画」に則り、中川運河にぎわいゾーンにおけるにぎわい創出に資するイベントとして育てていく。また、地域の社会インフラのリスト（人的ネットワーク・設備・道具等）を作成し、毎年更新していくことによって、実際に災害が起こった際に、迅速に復旧作業が行えるように備える（レジリエンス）。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。

※ この様式は公開されます。